

2010年10月27日
カーボンフットプリント制度試行事業事務局

「要員認証に関する実証実験」の内容について

1. 実証実験の目的

カーボンフットプリント（以下、CFP という）制度においては、CFP の内容の信頼性・透明性を確保することが重要ですが、一方で、これらを確保するための仕組み（検証方法）が事業者にとって過度の負担にならないものであることも制度普及に向けて重要となります。

本実証実験は、CFP を検証する方法として考えられる3つの検証方式（「個品別検証」「プロセス（システム）認証」「要員認証」）（※1）のうち、特に「要員認証方式」を試験的に実施することで、

- ① CFP 制度に必要な信頼性及び透明性確保の可能性
- ② 事業者のコスト及び時間的な負担

の両面から、要員認証方式の実施可能性を実証することを目的としています。

（※1）3つの検証方式の内容については、別紙1を参照。

2. 実証実験で行う内容

本実証実験は、以下の内容で行います。

【実証実験において行っていただく作業の内容】

- ① 応募・採択された事業者の検証員は、事務局によるカーボンフットプリント算定方法及び検証方法に関する研修を受講する（受講予定者の氏名を申請書に記載下さい）。
- ② 研修を受講した検証員は、企業に戻り自社で算定された CFP について検証を実施する。この際、検証員として CFP の検証内容が正しいと判断できるまで、CFP の算定のやり直しを求め、正しいと判断できた場合にのみ③、④に進むこと。
- ③ 事業者は、②で算定した CFP について CFP 検証申請書を作成し、事務局に提出する。
- ④ 検証員は、②で検証した CFP について CFP 検証結果報告書（※2）、CFP 検証チェックリスト（※2）を作成し、事務局に提出する。
- ⑤ 事業者は、③で提出した CFP 検証申請書にもとづき、第三者による検証および CFP 検証パネルによる審議を受ける（※3）。

【その他留意事項】

- ・ CFP 検証パネルにおける審議を経て、適当と判断された CFP の算定結果・表示方法については、CFP マークが付与されます（市場販売等の製品への表示を義務付けるものではありません）。
- ・ CFP 検証パネルにおける審議を受けた後、ご参加いただいた事業者様、検証員様には個別ヒアリング（要したコスト、時間、数値の信頼性確保における検証員の在り方など）させていただきますので、御協力お願いいたします。

(※2)カーボンフットプリント算定結果・表示方法検証申請書、検証結果報告書およびチェックリストについては、いずれも、試行事業において現在実施されている個品別検証と同じフォーマットを用いることとなります。算定結果・表示方法検証申請書はホームページよりダウンロードできます。検証結果報告書およびチェックリストについては採択された方へ事務局よりご提供いたします。

(※3)要員認証方式が本実験を通じて CFP 制度の検証方式に将来的に採用される場合には、第三者検証は行われなくなることも考えられますが、今回は実証実験のため、第三者による確認を行い、内部要員による検証が適切に実施されたかどうかを確認することとしています。

以上